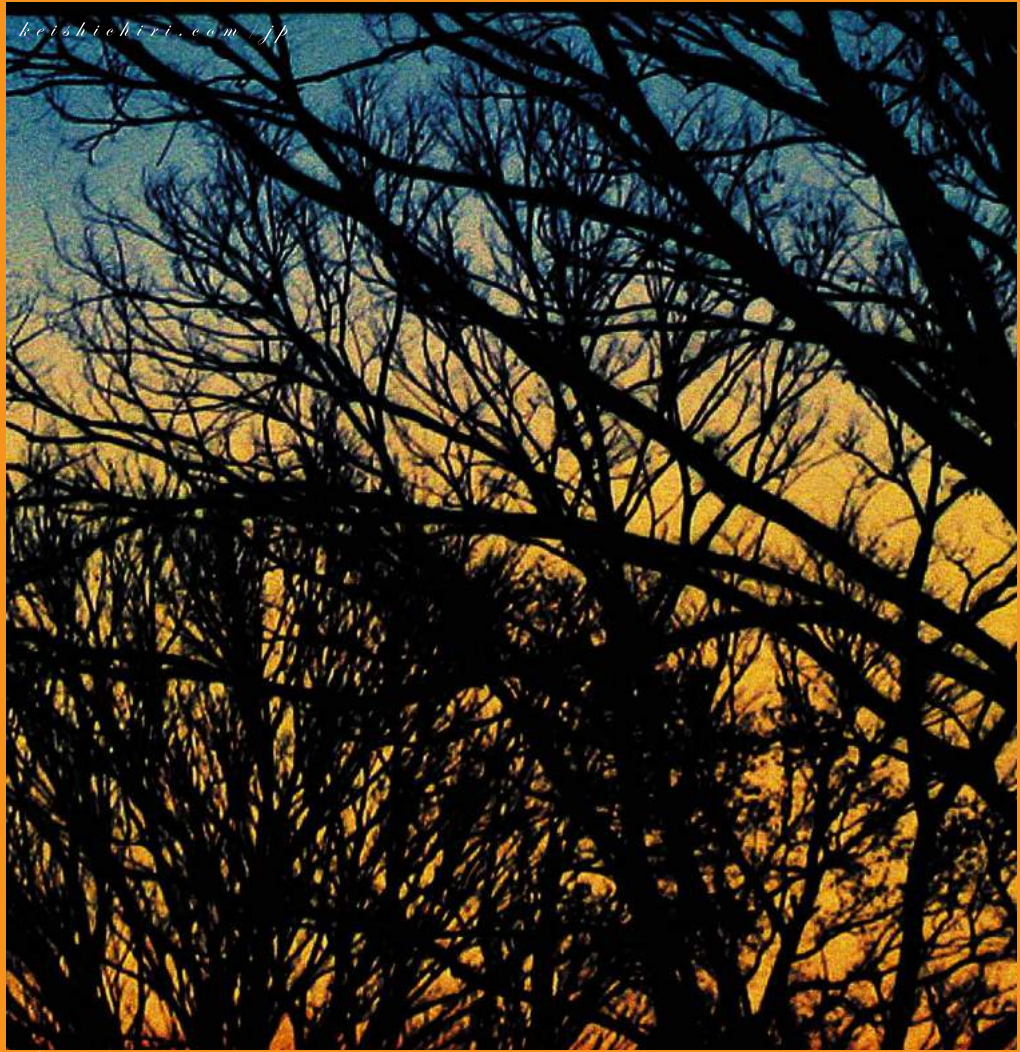


日本映画大学
映画・映像
アートマネジメント
人材養成講座

平成25年度文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業



声 つぐみ

西島秀俊

山本浩司

山本直樹

原作 山本直樹

音楽 侘美秀俊

七里 圭 監督作品

眠り姫

人が姿を見せない。からっぽの風景に、
濃密な人の気配と声だけがささめく映画。
記憶の奥深くまで語りかけてくる。
この奇妙な世界に入り込むと、
いつしか人の孤独な心だけが
見えてくる。

いくら寝ても、
寝たりない。

主催●日本映画大学 制作●シネマトリックス 協力●川崎アートセンター／多摩美術大学芸術学科映像文化設計ゼミ／KAWASAKIしんゆり映画祭／charm point

2月28日(金) 19時00分開演 会場 川崎市アートセンターアルテリオ小劇場 定員120名 料金1500円(税込)

音と映像を感じる——『眠り姫』アコースモニウム上映

A
C
O
U
S
M
O
N
I
U
M

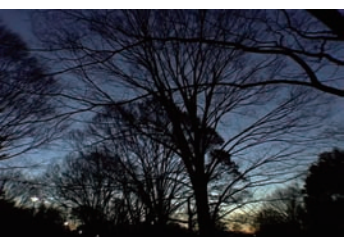


2013年6月18日。京都・同志社大学寒梅館にて日本初、いや世界初の試みとして話題を呼んだアコースモニウムによる映画上映——アコースモ「眠り姫」が、ついに関東地方で実現する。アコースモニウムとは、1970年代にフランスの現代音楽家フランソワ・ペイルが考案した、多次元立体音響システム。異なる音圧、音色、大きさのスピーカーを多数配置して空間音響を作り出す、電子音楽の革新的な演奏システムだ。このアコースモニウムの日本で唯一プロフェッショナルな演奏家・檜垣智也が、20数台のスピーカーを駆使して、声と気配のカルト映画『眠り姫』の完全空間化にライブで挑む。姿を見せないあの登場人物たちが、まるでそこにいるかの如く感じる絶妙の音響！必聴！！



究極の音響上映、待望の再演！！

音と映像を感じる——『眠り姫』アコースモニウム上映



夢は、体が眠っているのに脳は活動している半覚醒状態に現れるが、冒頭、夜が朝へと移りゆくまどろみの時間を映し出す本作は、全編、夢の中の出来事かのように思わせる。ほとんど人の姿が映らず、声や物音など気配だけが画面を満たす。山本直樹原作の同名漫画は、幻聴を主題にした内田百閒『山高帽子』を下敷きにしている。公開からすでに7年以上、今もアンコール上映が繰り返される驚異のカルト映画。人々がなぜ、この作品に魅かれ続けるのか、それは観た者にしか分からない。

『眠り姫』(2007年/80分/DV) 監督：七里圭/原作：山本直樹/音楽：柘美秀俊 声の出演：つくみ、西島秀俊、山本浩司

演奏 檜垣智也 プロフィール

1974年山口県生まれ。愛知県立芸術大学大学院修了。フランス留学中にアコースマティックの作曲と演奏で注目を浴びる。2003年に日本へアコースモニウムを紹介し、国内でもコンサート活動を始める。数多くの音楽祭やコンサート・シリーズの設立・運営・企画にも携わっている。記録された音響とその空間表現をテーマに活動を展開。現代音楽プロダクションMOTUS(パリ)と国際アコースマティック芸術祭FUTURAの常勤演奏家及び講師。九州大学大学院、愛知県立芸術大学大学院、大阪芸術大学、同志社女子大学、名古屋芸術大学などで講師を務める。



映画・映像アートマネジメント人材養成講座とは
 地域社会で映画に接するに際して、地域コミュニティのニーズに応えながら映画の知識をそなえてプログラムを組み、上映を行うことができる「映画を見せるプロ」の存在が求められています。本講座は、川崎市・新百合ヶ丘地区にある日本映画大学を母体とし、市内や近隣の芸術文化関係の諸施設と連携しながら「映画を見せるプロ」の養成を目指します。

眠り姫
 アコースモニウム上映
keishichiri.com.jp

2/28(金)19時00分開演

 **川崎市アートセンター アルテリオ小劇場**
 kawasaki ART center
 神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1 Tel.044-955-0107

料金 1,500円(税込) 当日券のみ/全席自由席/定員120名

※ご注意：当日17時より整理番号付きチケット販売開始
 ※ご注意：定員制の為、満席の場合はご入場いただけませんので予めご了承ください。

お問い合わせ(上映について)：シネマトリックス Tel:03-5362-0671 <http://keishichiri.com.jp/events/acousmonium/>
 お問い合わせ(講座について)：日本映画大学 映画・映像アートマネジメント人材養成講座 事務局 Tel:044-328-9123
 *講座ホームページ http://www.eiga.ac.jp/exchange/art_management/

主催●日本映画大学 制作●シネマトリックス 協力●川崎アートセンター/多摩美術大学芸術学科映像文化設計ゼミ/KAWASAKIしんゆり映画祭/charm point

